

動産 記入例

様式第11号の2(第40条関係)

提出年月日を記入

〇〇年〇〇月〇〇日

津山圏域消防組合
消 防 長 殿

届出人住所 岡山県津山市
職 業 会社員
氏 名 消防 太郎

建物内で発生した火災で、建物以外の内容物等（動産の所有者）が焼損した際に届け出る様式です。（水道・ガス・電気設備・システムキッチン等本来備え付けているものは不動産扱いとなり「不動産/動産用」の様式で届け出て下さい。）

火 災 損 害 届 （動産用）

1	り 災 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		損 害 見 積 額 合 計 7 4 4、6 0 0 円		
2	り 災 場 所 及び対象名	岡山県 津山市林田〇〇番地				
		コーボ消防〇〇号室				
り災物件と届出人の関係		1. 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他()				
3	火災保険の 契 約 状 況	保険会社名	動産の内訳	契 約 年 月	保 険 金 額	
		津山損概保険	建物家財全般	〇〇年 〇〇月	1, 0 0 0, 0 0 0 円	
		津山損概保険	絵画 1 枚 (ピカソ)	〇〇年 〇〇月	5 0 0, 0 0 0 円	
				年 月	円	
		宝石・貴金属・美術品等単品で保険加入している場合は内訳を記入して下さい。				
4	り 災 世帯員	氏 名	続 柄	生 年 月 日 ・ 年 齢		性 別
		消防 太郎	世帯主	〇〇年 〇〇月 〇〇日生 〇〇歳		男・女
		消防 花子	妻	〇〇年 〇〇月 〇〇日生 〇〇歳		男・女
		岡山 桃子	母	〇〇年 〇〇月 〇〇日生 〇〇歳		男・女
				年 月 日生 歳		男・女
				年 月 日生 歳		男・女
				月 日生 歳		男・女
5	連絡先	住所	氏名	電話		

津 山 圏 域 消 防 組 合

り 災 物 件 明 細					
品 名	数量	り 災 の 種 別	経過年数	購入金額	損害見積額
冷蔵庫 2 0 0 L	1 台	焼損・水損・その他	2ヶ月 年	200, 000 円	200, 000 円
経過年数が1年未満は何ヶ月と、超える場合は1年と記入して下さい。			焼損見積額は時価の金額を記入して下さい。		
※ 品名は、焼けた建物内にあった主な内容品について記入して下さい。上記記載例は購入後1年未満のため購入金額と損害見積額が同額となります。なお、建物の外にあった内容品については、用紙を別にしてり災物件明細書に記入して下さい。					
洗濯機	1 台	焼損・水損・その他	5 年	100, 000 円	14, 600 円
洗濯機などの電化製品は消耗品で比較的耐用年数（6年程度）と短く、上記の場合5年経過しており、「購入金額 100, 000 円×経過年数残存率0.146＝14, 600 円」となります。なお、残存率については社会通念上の常識範囲で提出者が判断し計算して下さい。（経過年数が古い物であっても経過年数残存率は0.1を下回らないようにして下さい。）					
絵画（ピカソ2号）	1 枚	焼損・水損・その他	3 0 年	200, 000 円	500, 000 円
絵画・骨董品・貴金属等の美術品に該当するものは、経過残存率による必要はなく、時価により計上して下さい。					
衣類一式	150枚	焼損・水損・その他	3～10年	300, 000 円	30, 000 円
単品で高価なものを除き、ズボン・スカート・セーターなど多数あるものについては、類ごとに「衣類」とまとめて記入して下さい。損害見積額については、購入金額と経過残存率の平均により損害見積額を求め記入して下さい。（上記衣類の計算例衣類購入金額平均2, 000 円×150枚＝300, 000 円 300, 000 円×平均経年残存率0.10＝30, 000 円となる。）なお、数量の計上困難な場合は空欄として下さい。					
注 意 事 項				損 害 見 積 額 合 計	7 4 4, 6 0 0 円
1. この届出は、消防法第24条に基づいて提出を求められます。					
2. このり災物件明細が複数枚となる場合は番号をつけて、総合計を損害見積額合計欄に記入して下さい。					
3. この届出は、建物1棟ごと、又は世帯ごとに作成し、火災した日から起算して1週間以内提出してください。					
記 入 要 領					
(3の欄) 1. 動産の内訳欄は、家財道具、美術品、貴金属等契約内容を記入してください。					
(4の欄) 1. 世帯員である同居人も記入してください。					
(6の欄) 1. り災物件明細欄に記載できない場合は「り災物件明細書」を添付してください。					
2. り災種別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼損・水損・その他の意味は、次のとおりです。					
(1) 焼 損 焼けた物、熱で変質、変形した物					
(2) 水 損 消火のために、濡れた物、壊れた物、汚れた物等					
(3) その他 煙で汚れた物、運び出すとき、避難するときに壊れた物等					
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。					
調査担当 署・所 氏名 電話番号()					

津 山 圏 域 消 防 組 合